

すくらむ

ひがしおおさか 東大阪こども市政だより
 だいじゅうごう 第10号 平成21年12月
 (2009年)
 発行 東大阪府役所 経営企画部 広報広聴室 広報課
 〒577-8521 東大阪市荒北1丁目1番1号
 TEL06 (4309) 3000
 FAX06 (4309) 3821
 ホームページ
<http://www.city.higashiosaka.osaka.jp/>



市内のなかまたち 小学校1年生 4,513人 2年生 4,730人 3年生 4,667人 4年生 4,869人 5年生 4,991人 6年生 4,973人 (平成21年5月1日現在)

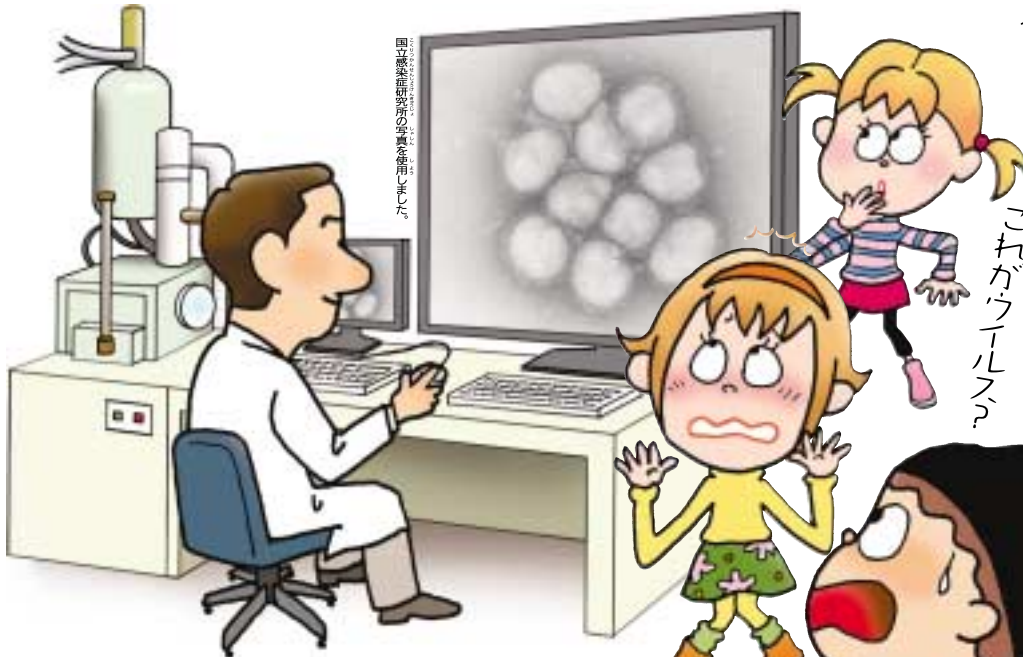
インフルエンザウイルスを自分で見ようと思ったら、電子顕微鏡を使って5万倍に拡大しないと見えないよ。

インフルエンザから身を守ろう

気温に関係なく流行している新型インフルエンザが、冬を迎えてさらに広がっています。あなた自身または友だちが、すでに新型インフルエンザにかかったかもしれないですが、インフルエンザから身を守るためには、みなさんひとりの取組みが大切です。

通常の季節性インフルエンザが流行する前に、予防と対策の方法を学んで、感染拡大を防ぎましょう。

これがウイルス？



国立感染症研究所の写真を用いました。

インフルエンザってなあに？

「インフルエンザ」とは、インフルエンザウイルスによる感染症のことです。

インフルエンザウイルスの大きさは1万分の1mm。とても小さくて、人の目では直接見る事ができません。

インフルエンザから身を守るため、予防と対策の方法を学びましょう。

インフルエンザは、冬に流行する病気です。



インフルエンザウイルスは変化しやすい性質を持っていて、たさんの型があります。

人から人に感染していく間に、型の違うウイルス同士が体の中で混ざり合って新しい型になってしまうことがあるので、季節性インフルエンザでも毎年違う型のウイルスが流行しています。

今年、メキシコやアメリカなどで確認されたインフルエンザ(H1N1)を、WHO(世界保健機関)が新型インフルエンザと決めました。通常の季節性インフルエンザは秋以降に流行しますが、新型インフルエンザは夏でも流行し、冬を迎えてさらに広がっています。

新型インフルエンザにかかった人から、症状などは季節性インフルエンザとほぼ同じとわかってきましたが、新型のウイルスなので、さらに多くの人々が感染する可能性があります。

「インフルエンザにかかったかな」と思ったら、病院に行って医師の診察を受けましょう。

※このページのデザインは、あまのこデザインです。

